

掲示板

◆アーバンホテル大田市場

TEL 3799-8181

わが国最大（東洋一）の卸売市場の中に位置するアーバンホテル大田市場。いわば旬の食材にいちばん近いホテルといえるでしょう。アーバンホテル大田市場では新鮮な特撰素材を取り入れた料理で皆様をおもてなしします。調理長が素材と味にこだわった料理は11階の見晴らしのいいレストラン「味菜」で。団体様用には宴会場も完備、各種ご宴会ご会合も承っております。



ご予算に応じてご用意させていただきますのでお問い合わせください。

また、ランチタイムも日替わりランチ1,050円からご用意してお待ちしております。お気軽にご利用下さい。

◆ゴルフコンペ優勝者の声

株式会社全国輸送 内海 平

今般、第9回連合会ゴルフコンペにおいて優勝の栄誉を戴き、感激の余り、興奮がいまだに収まりません。私事ですが、3年前に50肩になり、しばらくクラブを握る事が出来ない日々がありました。今冬にあの痛さに負ける事なく精進しました事と、ハンディキャップと時の運に恵まれ優勝する事ができました。これもひとえに皆様方のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。

「レストラン味菜宴会・パーティープラン」
市場会席 お一人様8,190円

(4名様より要予約)

味菜御膳 お一人様4,725円
大皿盛込み お一人様5,250円

(4名様)

東京港野鳥公園は国際的に認知された公園です

(シギ・チドリネットワーク参加地)
東京港野鳥公園管理事務所 (TEL3799-5031)

東京港野鳥公園は、大都会東京の中で、国内では数少ないシギチドリネットワークの登録地として、国際的に高い評価を得ている公園です。東京都は、平成10年にメダイチドリの全個体数（35,000個体）の中継地として一日に100羽（登録基準25% 88個体以上）が確認されたため、平成12年に国際湿地保全連合に申請をし、国内では4番目、世界でも33ヶ所の参加地の仲間入りをいたしました。東京港野鳥公園は、これから季節（春4月～5月）（秋8月～10月）がシギ・チドリのドライブインとなり、南から何千キロもの長い渡りの途中で公園に立ち寄り、羽を休め、ゴカイを食べ、エネルギーを補給して、さらに北に向かって旅立って行く。今、公園の「潮入りの池」には、干潟で餌となるカニやゴカイを食べている可愛らしいシギ・チドリを観察することができます。皆様もスロー



干潟で休むメダイチドリの群れ

ライフから始める、バードウォッチングを野鳥公園でいかがですか。

*「シギチドリネットワークとは？」

南は、オーストラリア、北はロシアに至るシギ・チドリの生息環境を守るために国際協力活動。

*「なぜ国際協力活動が必要か？」

冬を南半球で夏を北半球で過ごす多くのシギやチドリたちは、春と秋に最長で1万キロにも及ぶ渡りをします。その途中、湿地に立ち寄り、餌を取ったり休憩をしながら渡っていきます。そのためルート上にある湿地（「潮入りの池」や「前浜干潟」）は、越冬地や繁殖地と同じくらい重要な場所です。多くの国々を渡る彼らの生息地を保全するためには、国境を越えた協力活動が不可欠なのです。



自分が飼い主より上の立場にいると勘違いしてしまいます。ご存知のとおり、犬はオオカミを先祖に持つ群れを作る習性を持った動物です。しつけのポイントは家族の中で、犬の順位を一番下におくことです。力や体罰ではなく、飼い主が強い意志を持って、犬に人が決めたルール（：例えば、散歩のとき前に出ないとか、食事中おねだりしないなど）を、守らせることです。そして、いい子だったときはたくさん褒めてあげましょう。このようなことを毎日の習慣にしていけば、あなたの犬も必ずよき伴侶になってくれると思います。

犬のしつけは毎日の習慣から

東京都動物愛護センター城南島出張所 (TEL3790-0861)

今回は犬のしつけについて、お話しします。当所へ電話等で犬のしつけで困っているという問い合わせがあります。多くは、吠え声がうるさい、散歩で引っ張る、咬み付く、言うことを聞かないなどの相談が多く、また、最近のブームを反映して室内で飼われている小型犬についての相談件数が増えているようです。

犬、特に小さな犬はとてもかわいいものです。そのためか、甘やかしがちになり、犬のご機嫌をとっている方々が多いようです。その結果、犬はわがままが通ると思い、

編集後記

城南島タイムズは、読者の声の欄や掲示板コーナーをさらに充実させていきたいと思っています。皆様の積極的な活用をお願いいたします。

(財) 東京港埠頭公社
城南島連合会新聞委員会

※この用紙は再生紙を使用しています。

城南島タイムズ



城南島周辺で動いている公共の事業

着々と進むスーパーイコタウン事業

新聞委員会 (TEL3790-8601)

スーパーイコタウン

事業については、これまで、何回かご紹介してきましたが、今回は、城南島で事業を行う各社の状況についてお知らせします。城南島では、現在7社がこの事業に参加し、事務



スーパーイコタウン進出企業配置図

手続きや施設の建設など、各段階での業務を進めています。業務の内容や進捗状況は表を参照してください。また、地区内の各社配置は図のようになっています。建設も進んですでに完成したところもあり、今後、順次稼働していきます。

場所	社 名	業務内容	用地面積	進捗状況
①	高俊興業(株)	建設混合廃棄物のリサイクル	約9,000m ²	H15.7着工 H16.11稼働
②	株リサイクル・ビア	建設混合廃棄物のリサイクル	約9,000m ²	H15.11着工 H17.1稼働
③	株フューチャー・エコロジー	廃情報機器(パソコン)のリサイクル	約5,000m ²	H15.9着工 H16.4稼働
④	バイオエナジー(株)	食品廃棄物でバイオガス発電	約4,700m ²	手続中
⑤	株東京クリアセンター	食品廃棄物の飼料化	約4,200m ²	手続中
⑥	株リーテム	廃情報機器のリサイクル	約5,250m ²	手続中
⑦	株ヨコタ東北	食品廃棄物のリサイクル	約6,000m ²	事業実施計画調整中

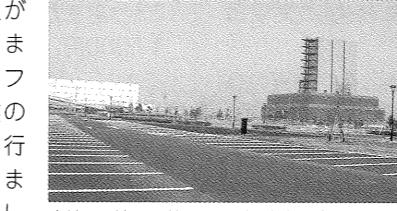
城南島海浜公園からのお知らせ

城南島海浜公園管理事務所 (TEL3799-6403)

城南島海浜公園では新たに公園の第一航路側（北東側）に平成15年から4年計画で芝生広場、ドッグラン（飼い犬を自由に放せる専用ゾーン）、多目的広場、駐車場などの整備を予定しております。その中で平成15年度に整備された芝生広場（約4,600m²）と一部の駐車場がゴールデンウィークから開放されました。ご存知のとおり第一航路側は景色も良く、大型船を目の前で見る場所です。是非、ご家族でピクニックなどに御利用ください。

さて、平成15年4月から「つばさ浜」で潮干狩りを楽しんでいるお客様がたくさんいらっしゃいます。「つばさ浜」のアサリは自然に着いたもので、決して稚貝を濁すわけではありません。そのため、昨年に比べて今年は大分減りました。（昨年のような身の詰まったアサリは取れないかも？）より多くのお客様が楽しめるよう、小さなアサリは放して、行商などの用具で大量に取らないで下さい。水の中に入る時は「きげん」杭より先は「急に深く」なっていますので、杭からでないように十分に気をつけてください。また、今年もボランティアによる浜の清掃（ビーチクリーンアップ）も行いますので、よろしくお願いします。

ところで、このごろ当公園もテレビ撮影などが多くなっています。ご覧になったことはございませんか？ラジオで公園自慢No.1とかTBS「はなまるマーケット」で紹介されています。これも日頃、皆さまのご協力の成果と思っています。スタッフだけでは人が癒される公園作りはできません。私たち公園スタッフは、これからも地域企業の皆様と暖かい公園作りを行っていきたいと考えています。今年もご協力お願いします。



新たに利用可能になった駐車場と芝生広場

リサイクル事業のお知らせ（続）

城南島工コプラント (TEL3799-0831)

東京都では、家庭から排出される廃棄物は、収集運搬から中間処理・最終処分までを、従来から行政が一体的に行っています。一方、事業者等が排出する産業廃棄物は、事業者責任で、自らが処理することが法律で定められています。東京都から排出される廃棄物の量は、一般廃棄物が464万トン、産業廃棄物が2,522万トンで、各々、全国の排出量の約9%と6%に相当しています。（出典：「東京の環境2004」平成13年度実績）これらの廃棄物は、リサイクルされ、資源として再生利用されたり、中間処理された後に最終処分（埋立）されています。城南島工コプラントでは、産業廃棄物のうち、廃プラスチック類、ガラス・陶磁器くず、金属くず、ゴムくずの4品目を受け入れています。

さて、現在、エコプラントで行っているリサイクルへの取組みは、廃プラスチック類の再生利用です。受け入れた廃プラスチック類を人手により選別し、圧縮梱包した後、再生利用施設に搬出します。再生利用施設では、廃プラスチック類を細かく裁断し、熱により加工・製品化しています。（これを「マテリアルリサイクル」といいます。）その利用例として、電車の枕木や公園に設置されている柵や囲い等があります。また、マテリアルリサイクルに適さない廃プラスチック類は、発電所で発電用燃料として利用されています。（これを「サーマルリサイクル」といいます。）城南島工コプラントでは、このような再利用のほか、資源循環型社会に貢献できるよう、廃棄物の資源化等リサイクルをさらに推進しています。



城南島連合会

◆交通委員会より

委員長 石丸正信

◎「コンテナ車等大型車放置対策」について

臨海道路の開通及びスーパーイコタウン進出等により、島内交通事情は激変している。加えて、3年前交通事故の一因となつた大型物流車両放置の問題が「極めて危険かつ交通上の障害」となっている。

昨年度、連合会交通委員会は、大型物流車両の運転手が乗車している不法「停車」問題については、大型物流車プールの貸主・使用者を呼び、水上警察署様にもご指導いただきました。

ところで、標題は、2丁目から5・6丁目に設置されている大型車プールの会員ではなく、同プールの使用権利を有しない言わば「アウトサイダー」が、一般に数日間あるいは長期に亘り、運転・操縦席を切り離し、空コンテナ・シャーシー等を運転手不在で放置しているものです。この危険かつ渋滞の一因となる放置車に対する具体的な対策となると、連合会が直接解決できる性格のものではなくお手上げ状態です。

そこで、大変お手数をおかけすることになりますが、警察当局に取締をお願いせざるをえません。すでに会員各位に配布済の「放置大型車情報」を用いて、放置大型車を発見次第、各組合事務局の方に連絡をされて、組合事務局から水上警察署に取締を要請することとしたものです。

事情をご理解され、島内から放置大型車による交通事故及び渋滞をなくすためにご協力をお願い申上げます。

各組合に配布してある、この用紙を使って下さい。

水上警察署 交通課御中	
(FAX番号 (3458) 6810)	(電話番号 (3458) 68110 内 4113)
平成 年 月 日 年 分	
放置 大型 車 情 報 (城南島連合会)	
右の大型車が下記場所に放置されています。 放置上大変危険、かつ 大家迷惑でありますので 運送方ご指導をお願い申 しあげます。	
放置車 種別 (印を押す) 大型車等	コンテナ シャーシー その他
車両名 (印)	
○運送者 氏名 () 電話番号 ()	

◆環境委員会より

委員長 田久保隆幸

当社(株)奈良機械製作所では、城南島清掃ボランティア活動を行っています。自分達の勤務するこの城南島の環境をより良いものにしたい。島外からいらっしゃる方々に気持ち良く過ごして頂き、気分良くお帰り頂きたい。年に一度位は全員で清掃をしましょうという社員の提案から始まった当社独自の清掃活動ですが、今では同じ島内に職場を持つ方に理解して頂き、自社の周りくらいは自分達で清掃を行おうとする企業も増えてきており嬉しく思います。

しかし、残念ながらこの島を生活基盤と

していないトラック、コンテナ輸送のドライバー、休日に海浜公園に遊びに来るドライバーには我々の思いは伝わりきれないようです。

行政では、空き缶、空き瓶の不法投棄を思いとどませる効果があると思われる路肩、分離帯の雑草の刈り込みを行い、看板で不法投棄防止を呼びかけていますが一気に不法投棄は減少していません。城南島には今年から来年にかけてスーパーイコタウン計画として、廃棄物処理業者数社が進出してくる予定です。

城南島連合会では廃棄物の搬入、搬出トラックのドライバーが不法投棄をしないよう進出企業に対して指導要請をしております。(不法駐車も含めて)

「旅の恥はかき捨て」と言う言葉があります。これは本来、旅先では知っている人がいないから何をやっても平気だと言うことでしょうが、わたしは旅先の風習、文化がわからなかつたら尋ねなさい、知らない

事を尋ねるのは恥ではないという意味でもあると解釈しています。旅先での言動は全てにおいて許されると解釈をする人達ばかりでは余りにも情けないと思いませんか。生活基盤では無い土地、一時的に立ち寄る

場所においては、他人の迷惑を顧みず、身勝手な振る舞いを行う人達が増えていることは残念です。

また「赤信号、皆で渡れば怖くない」というフレーズもしかり、漫才の中で現在の

悪しき行動を戒める意味で使用したフレーズが一人歩きし、集団が認めるものは全て許される。皆がやっているから私がやっても許される。これらが冗談半分、本気半分みたいに使われるのも残念なことです。

我々は「郷に入ったら郷に従え」といつでも言えるように城南島を不法投棄のない島にすべくこれからも投棄防止活動と引きいな島であるように清掃活動を続けていきたいと思います。皆様のご協力を宜しくお願いします。

追記

環境委員長より理事会に下記のことを提案して検討しています。

1) 城南島を1回/2ヶ月 業者に清掃を依頼する。

2) 費用については、連合会が1/2、当事者1/2を負担して頂く事を検討してみたい。

◆交通渋滞道路問題委員会より

委員 蒼木清秋

◎交通渋滞とスーパーイコタウンについて

城南島連合会に「交通渋滞道路問題委員会」が設けられました。

この委員会は城南島が抱える諸問題のうち交通渋滞、道路レイアウト、違法駐車、ゴミ等の基本的問題の解決を目的としています。

「T2丁目第2駐車場」

東京都港湾局の指導により、一昨年、通常車両以外の大型車の退去をお願いし、す

抱いていると思います。

また、年末にはスーパーイコタウンも操業開始の予定で、搬入、搬出車両も相当な台数となり渋滞の更なる悪化が予想されるからです。



平成16年3月9日に第1回会合が開催され、以後毎月1回第2火曜日14:00より開催することになりました。



第1回会合では水上警察署より大森交通課長、泉交通係長にご参加頂き交通渋滞、違法駐車の取締りをお願いしました。早速、3月10日を第1回として4月にも6回取締りをいたしました。

特に大型コンテナシャーシーの置きっぱなしには違反切符を切るなど厳しい対応を取りました。効果は抜群で違法駐車は激減しました。地元の皆様にも違法駐車の無いよう要請されましたので、ご協力をお願い申し上げます。

また、違法駐車を完全に無くすため、カラーコーン購入の予算も頂きましたので5月から駐車しては困る場所に設置する予定です。



東京都環境局からは望月副参事他2名のご参加を頂き、当年末操業予定のスーパーイコタウン事業に関連した交通量、環境汚染に対する危惧について説明がありました。

エコタウンに入る車両が一箇所に集中するなど道路レイアウトにも問題があると考えられ、特に大型車の転回にも不自由な箇所があるので道路の角を削ったり、幅員を広げるため行政との折衝も検討中です。



当日は24名のご参加を頂き有意義な会合となりました。

問題意識を持っていても単独では解決が難しいのが実情です。

今後もこの会合は継続してゆきますので是非多数のご参加をお願いいたします。

◆新聞委員会より

委員 杉崎武春

◎駐車問題について

「T4丁目第3駐車場」

平成15年12月末にすぐ隣の新設の駐車場に移転完了しました。以前の道路を使った駐車場はすでに道路として大田区へ移管されていましたため、今回の移転となりました。53台収容可能で(その内2台はマイクロバス用)現在30台契約されているが、まだ23台空きが有ります。駐車料金は普通車17,000円、マイクロバス33,000円となっており、利用時間は全日24時間使用となっています。

「T2丁目第2駐車場」

東京都港湾局の指導により、一昨年、通常車両以外の大型車の退去をお願いし、す

べて完了しました。その後、管理者東京都埠頭公社より現在空いている半分の駐車場を大型車・特殊車専用として整備、設置したいとの案(全体で普通車106台、4トンロング51台)が連合会に持ち込まれました。昨年8月に利用希望のアンケートを取ったところ、希望が無く、今まで空いたままの状態が続いております。

「駐車場料金の下落」

オフィスビルの家賃の下落と同様に駐車場料金も下がってきており、特に時間貸し駐車場の料金が下がっています。

このような状況を踏まえて、連合会の森副会長が東京都港湾局に上記駐車場料金を8,000円位にしていただけるよう要請しました。

アピール

◆臨海斎場のその後について

新聞委員 小澤晴夫

臨海斎場は1月15日オープンとなりましたが、オープン前の見学会(昨年12月15日開催)には、新聞委員会メンバーの私も参加しました。

さすがに、大田・港・品川・目黒・世田谷の5区が、共同で建設した施設だけに、環境にも配慮した、立派な施設という印象を持ちました。例えば、トイレの水は雨水を濾過利用していますし、自然採光を取り入れた窓や風力を利用した電灯で電力エネルギーを節約しています。また、空気を汚さないように有害物質の発生を防ぐ火葬装置となっています。場所は大田スタジアムの南に位置し、周囲の緑と調和した中で、落ち着きのある雰囲気を醸し出しています。

施設概要としては、敷地面積が約22,500m²、緑地面積は約4,450m²であり、火葬炉が8基、葬儀式場は4室となっています。

先日、臨海斎場組合事務局の方にお目にかかり、利用状況について伺いました。1月~3月までの間で、火葬件数は約680件(内、大田区は約65%の利用、品川区は約18%の利用)、告別式件数は約280件(内、大田区は約62%の利用、品川区は約23%の利用)との事でした。また、民間施設としての桐ヶ谷斎場との比較データはありませんが、今後とも、地元にある斎場施設として、大いにご利用いただきたいとの事でした。

◆最近心にとまつた記事

新聞委員 佃 善文

知人から最近、「男をやめる」(ワニブックス刊)が送られてきました。タイトルの意外性から、読み進めるうちに、著者の宗像恒次さん、筑波大学大学院教授で、ヘルスカウンセリング学会の会長らしく、本文

中に「お父さんに必要なのは愛のチカラ」の項は、考えさせられました。

以下は、そこからの引用です。ガン細胞は、毎日、2000~3000個つくられる、このガン細胞を破壊するのが、ナチュラルキラー細胞(NK細胞)だ。NK細胞は外から侵入するウイルスや細菌を破壊すると同時に、体内で突然変異するガン細胞を破壊する役割がある。40歳を過ぎるころから、徐々に免疫力が低下し、NK細胞がガン細胞を破壊しきれないという状況が起きてくると前置きして、宗像さんらの調査では、「自己イメージがいい人」、「自己価値観の高い人」、「自信のある人」ほど、NK細胞が活発になる傾向性がある、といい、「自分の家族関係は良好だ」と認知している人、つまり、家族を愛し、家族に愛されていると感じている人もNK細胞の活性が高いと指摘しています。

そうです。愛はガンをも克服するというわけです。

もう一冊。これは、すでに私にとって古典の部類になりますが、ずっとそばから離さない、困った時、理不尽な人事で眠れない時などの心のビタミンみたいな本です。

城山三郎さんの「打たれ強く生きる」(日本経済新聞社刊)。

日米ビジネスマンの精神的破滅を数多く見てきたというニューヨークの精神科医、石塚幸雄さんの話を紹介して、破滅に至らぬためには「3本の柱」を太くしておく必要があるという。

ひとつは、「インティマシー」。家族とか、友人とか、親しい人々との付き合いであり、「親密な時間」を必要としているのは、子供だけではない。日本人はとくに夫婦関係が弱く、逆に会社での人間関係が濃密になってしまふから、人事に過度に敏感になり、これが危険な傾向だという。

二つ目は、「セルフ」。自分自身だけの世界、信仰とか読書とか思索とか、趣味の世界をいう。

そして3本目は、「アチーブメント」。仕事とか、はっきりした目標や段階のある趣味の世界であると説明し、3本の柱がバランスよく太くなつて、その上に乗つていれば、1本の柱になにか異常が起つようと、あと2本で支えてくれる。打たれ強さも、そういうところからでてくるのではないか、という内容です。

NK細胞の活性化を前に祈りたい! ご参考にしてください!

◆こんなこと知つてますか

新聞委員長 今井 準一

城南島連合会では、スーパーイコタウンの進出にともなう島内交通の渋滞問題が大きなテーマになってきています。城南島地域の交通は大半が通過車両によるものです。

通過車両による問題については、城南島

連合会でも中長期計画として下記のような取り組みをしています。

- 1、臨海道路の二期工事の見通しについて
 - 2、国道357号線のトンネル箇所の開通について
 - 3、第2湾岸道路計画について
 - 4、京浜島、横浜方面への渋滞解消のための道路の新設について
- 読者の皆さんには、それとは別に次のような活動があるのを御存知でしょうか。それはこのようなものです。

アクアライン800円実現化100万人

署名活動推進協議会

事務局 〒292-0016 木更津市高砂2-3-21

TEL 0438-41-3778 FAX 0438-41-8857

アクアライン800円事務局

<http://www.aqua800.com>

アクアラインは昭和41年建設省により調査が開始され、平成9年12月に開通した費用1兆4,500億円に及んだ夢のプロジェクトです。東京・横浜圏と半島性の強かった千葉県とが相互に補完しあいながら発展することが期待されました。しかし、通行料金が高いため予想の3分の1しか通っておらず、同時に期待されていた首都高速湾岸線、京葉道路、国道14、16号線などの渋滞緩和のバイパス線としての役割も果たしておりません。

昨年民間有識者が、交通や土地利用に関する分析技術を用いて、アクアラインの通行料金変化による通行台数予想と東京湾全体の幹線道路通行車両の影響もあわせて予想しました。その結果、普通車1,000円の分析基準を用いたところ、通行量は2倍となり、当初の日額営業収入は約4,360万円から約3,800万円に減収するものの、燃料費の節約、時間の節約により東京湾を取り巻く10幹線道路全体では、減収の約18倍の日額1億円もの経済効果が生まれ、又周辺の二酸化炭素を初めとする環境阻害物質が6~10%削減するとの予想数値が出ました。

公共事業はその利用価値を高めて初めて納税者に経済効果が還元されるものであり、この道路を有効に活用すれば、大きな経済効果が納税者にもたらされます。故に私達は、首都高速700円、15kmの高速道路が600円という現実を踏まえ、今回、分析に用いた経済効果を更に2割程度高められるよう普通車800円(大型車2,000円)への大幅値下げを望みたいと考えます。

1兆4,500億円の国民の資産は、今のままで、まるっきり死んでいます。これを有